

令和3年度スポーツ庁委託事業
(障害者スポーツ推進プロジェクト)
報告会資料

石川県
令和4年2月16日(水)

1. 地域が有する課題の状況等

(1) 地域の障害者スポーツの実施状況

<石川県障害者スポーツ大会参加人数（うち、30歳未満）>

R 1 : 1,107人 (363人)

H 3 0 : 1,088人 (346人)

H 2 9 : 1,131人 (351人)

H 2 8 : 1,172人 (358人)

H 2 7 : 1,110人 (333人)

- ・近年、参加者数は約1,100人でほぼ横ばい
- ・毎年ご参加いただく選手が多い一方で、
新たな参加者の獲得が課題

※令和2年度～3年度は新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 課題(実行委員会からの意見等)

- ◆学校卒業後も、スポーツに取り組める環境づくり
→ 障害者スポーツの実施環境の充実・地域格差の解消
- ◆令和元年10月に「共生社会づくり条例」を施行
→ 障害者スポーツの推進を通じた共生社会の実現

(3) 取り組み内容

◆総合型地域スポーツクラブにおける障害者参加型スポーツプログラムの創設・実施

→障害者スポーツの実施環境の充実・地域格差の解消
障害のある人とない人が共にスポーツを行う機会を設けることにより
スポーツを通じた障害への理解促進

◆インターネット等のIT技術を活用した外出・移動等を伴わない形での障害者のスポーツ参画機会の創出

→障害者スポーツの実施環境の充実・地域格差の解消

障害のある方々が身近な場所で生涯にわたって
継続的にスポーツに取り組める環境整備を図る

2. 具体の取組内容

(1) 障害のある方もない方も参加対象とした教室開設する
総合型地域スポーツクラブに対して指導員を派遣し、
教室運営を支援

もんぜんスポーツクラブ

種目：ポッチャ、卓球バレー等
会場：輪島市門前健民体育館
頻度：1回/月
参加者：10人程度/回

NASPO (ナスポ) ※

種目：陸上
会場：七尾市城山陸上競技場
頻度：1回/月
参加者：10人程度/回

※近隣の特別支援学校の
生徒を対象にプレ実施

かなざわ総合スポーツクラブ

種目：陸上
会場：金沢市営陸上競技場 など
頻度：1回/週
参加者：5人程度/回

NPO法人宝達スポーツ文化 Kommission

種目：卓球バレー
会場：宝達志水総合体育館
頻度：1回/月
参加者：20人程度/回

2. 具体の取組内容

(2) インターネット等のIT技術を活用した外出・移動等を伴わない形での障害者のスポーツ参画機会創出

→ 支援施設でのオンライン
エアロビクス教室を開催

種 目：エアロビクス

頻 度：3回/年

参加者：20人程度/回



※石川県障害者スポーツ協会で、公式Youtubeチャンネルを開設し、
障害者スポーツの体験・紹介映像を制作・公開

→車いすバスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー

3. 取組結果等

(1) 総合型地域スポーツクラブでの取組結果

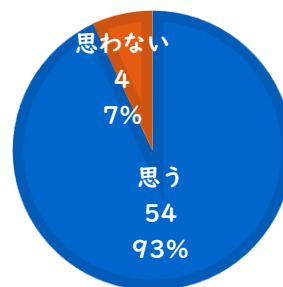
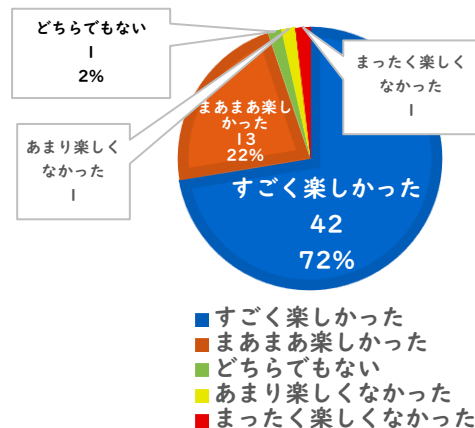
新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制限がある中での実施となったが

- ◆障害のある方が参加できるクラブがなかった地域で、教室を開設することにより、身近な地域でスポーツに取り組める環境づくりにつながった
- ◆また、教室に近隣の小学校が参加するなど、障害のある方とない方が共にスポーツを行う機会にもなっており、スポーツを通じた障害の理解に繋がることが期待される

参加者アンケート結果

(回答数58)

<教室の満足度> <また参加したいと思うか>



■思う ■思わない

<参加者の声>

- ・普段できないスポーツに取り組むことができた
- ・スポーツ教室を通じて地域の方々と交流できた
- ・指導員の方が丁寧に指導してくれている

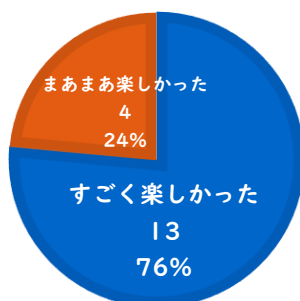
3. 取組結果等

(2) 障害者支援施設でのオンラインエアロビクス教室の取組結果

- ◆ 障害のある方々にとって、普段の生活の場所から外出・移動等を伴わない形で、スポーツに取り組む機会を創出することができた
- ◆ 指導員にとっても移動の負担がなく、新型コロナウイルスの感染状況の影響を受けず、安心して開催することができた

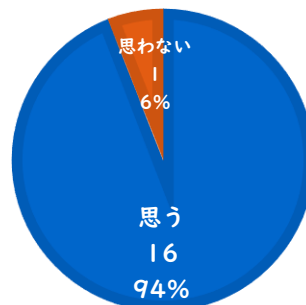
参加者アンケート結果 (回答数17)

<教室の満足度>



■すごく楽しかった
 ■まあまあ楽しかった
 ■どちらでもない
 ■あまり楽しくなかった
 ■まったく楽しくなかった

<また参加したいと思うか>



■思う ■思わない

<参加者の声>

- ・ 自粛期間中でも体を動かす機会になって良かった
- ・ オンラインでの取り組みは初めてで不安だったが、実際にやってみて出来ることがわかり良かった
- ・ 定期的に行っていければ良いと思った

3. 取組結果等

(3) 課題

- ◆総合型地域スポーツクラブでの取り組みについては、クラブ側からも
 - ・障害者への指導をどういうふうに行ったらいいのか勉強になった
 - ・思った以上に参加者の反応が良かったので安心しているといった意見をいただいております、4クラブとも次年度以降継続する意向
- ◆一方、近隣に特別支援学校や支援施設がないクラブにおいては、参加者の獲得に苦勞しており、広報については更なる取り組みが必要
- ◆オンラインでの教室開催については、支援施設と指導員との接続にあたり、環境設定に苦慮する場面もあった。
- ◆個人単位でも参加できるように、取り組みを広げていくには課題を感じている。

(4) 今後の方向性

- ◆障害者スポーツの実施環境の充実・地域格差を解消するため、
 - ・総合型地域スポーツクラブや、障がい者スポーツ指導者協議会等と連携し、身近な場所で日常的にスポーツに取り組める環境の更なる充実
 - ・ICTを活用した障害者スポーツの推進
- ◆スポーツを通じた共生社会の実現を図るため、障害のある方以外も巻き込んだ障害者スポーツの推進

お問い合わせ先

石川県 健康福祉部 障害保健福祉課
地域生活支援グループ 眞田（賢）
〒920-8575
石川県金沢市鞍月1-1
TEL 076-225-1426
FAX 076-225-1429